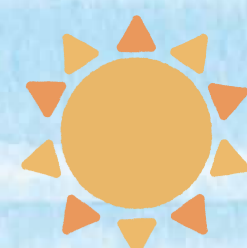


# 三河湾の生き物から知る海の豊かさ

2日にわたる活動で子どもたちがどんなことを体験し、何を感じたのか。そしてどんな発見があったのか。魚介類の宝庫、スナメリも生息する豊かな海、三河湾で知ったさまざまなことを「学びのノート」からピックアップしました。



愛知丸に乗り込み、三河湾の環境調査



大島でシーカヤック体験



カツオの一本釣りに使う餌は…

シーカヤックはどのようなようにして進むのでしょうか？それはオールで水をかくときの力で前に進みます。オールのへこんでいるところを後ろにするとたくさん水をかきやすく、速く進むことを学びました（浅沼滋斗）  
海の大切さや、人が出すごみが海を汚していることを知り、これからごみは家に持ち帰って捨てようと思いました（川崎悠歩）。



本物の竿を使ってカツオの一本釣りを実演



話題のサマー・リゾート三河大島にて

## 1班

### 大切にしたい海の食物連鎖

愛知丸で調べたら、三河湾の夏の海底で酸素が少なくなっていて、餌も少なくなっていることがわかりました（堤清策）。  
魚のすみか、干潟を増やすにはゴミを捨てないことが重要であることを学びました。（稲田莞爾）  
三河湾は魚の餌が少なくなっていて、住む場所も少なくなっています。食物連鎖がくずれていて酸素がなくなっています。（三品遠成）  
海にはクラゲやイソギンチャクなど危険な生物もいます。海で遊ぶときは潮の満ち引きにも注意しなければいけないと思いました。（秦圭叶）



干潟で生き物観察



愛知県立三谷水産高校での調理実習



潮の引いた竹島は歩いて渡れそう

## 2班

### 干潟の役割を知り学んだ生物の多様性

アサリが育つには十分なえさと天敵が少ない場所、砂のつぶが揃いない干潟が必要です。干潟は満潮になると干潟にならなくなり、土砂が堆積して作られます。（中村理雄）  
アサリが育つには、十分なえさがあり、赤潮や青潮がでにくく、塩分がやや低めで敵がいらないところが適しています。（金子璃玖）  
干潮時に干上がり満潮時には海面下に、砂また砂泥質の浅場がひろがっている場所を干潟といいます。小さい生き物のすみか、鳥の餌場になっています。水質の浄化、生物多様性の維持など役割があります（熊澤太貴）。  
三河湾の海の状態を調べて分かったのは、酸素の量が30%以下は魚が生きられません。プランクトンを食べるアサリの干潟を守る必要があります。（林煌）

## 4班

### 知らなかった生き物もたくさん暮らす三河湾

竹島海岸で生き物採集をして、干潟には貝やヤドカリ、カニ、ハゼ、小魚などがいることがわかりました。（小林由季）  
アサリが育つには十分なえさがあり、塩分がやや低く、赤潮青潮がないこと、天敵が少ないこと、砂の粒が適度に揃っていないことが必要です。（平田心彩）  
干潟を守り、アサリなどの海をきれいにする生き物を守ることが魚を増やすことにつながると思いました（中根愛乃）。  
色々な魚の赤ちゃんが育つ干潟が少なくなっていることで夏に海底の酸素がなくなると、魚が少なくなっています（葛西琴雪）。  
海でよくとれる新鮮なアサリやアオサ、タコを使ってお昼ごはんを作りました。アサリは春、秋が旬だとわかりました（渡会渚砂）。



潮干狩りで賑わう竹島は生き物の宝庫



竹島に渡る橋の根本にも様々な生物が



2日間の発見を新聞でレポート

## 3班

### 海のアクティビティも三河湾の大きな魅力

アサリの1個体は1時間に約1リットルをろ過します。しかし植物プランクトンとアサリは減るので、干潟が減ると生き物が減るので、今ある干潟を守らなければいけません（鈴木俊祐）。



三河湾にはどんな微生物がいるかな!?

